



\*\*\*\*\*

### かるがも・ねっとが今年度、目指すこと

4月16日に行われた「第1回かるがもミーティング」では、新座子育てネットワークの視察研修を踏まえ、今年度、「かるがも・ねっと」としてどのようなことをしていくかが話し合われました。ここでは、「かるがも・ねっと」の活動の方向性と今年度の活動として提案されたことをお知らせします。

かるがも・ねっとの活動の方向性：

つくば市では多様な子育て支援活動が行われているという状況を踏まえ、

支援者同士がつながり、協働していく仕組みをつくり、支援者の力量を高めたり、支援者を増やしたりすること。

支援を必要としているグループや親子に、様々な取り組みがあることを紹介していくこと。

今年度の計画：

昨年度は、ネットワークの土台づくりの1年として、つくば市にどのような子育て支援の資源があるのかを知ることが目標に、お互いの活動を紹介し合う学習会の開催と、ニュース・レターの発行を行ってきました。今年度は、「かるがも・ねっと」の存在を多くの人々に知ってもらうことが目標に、学習会の開催やニュース・レターの発行に加えて、次のような活動を行っていくことが提案されました。

今年度の活動目標：より多くの人々に「かるがも・ねっと」の存在を知ってもらうこと。

今年度の活動計画：

「つくば市子育て支援を考える2005」を開催すること

昨年の6月に行った「子育て支援を考える」の第2弾を開催する。つくば市で子育て支援を行っている諸機関・諸団体・グループ等の人々に呼びかけ、かるがも・ねっとの活動の趣旨と経緯を伝えると同時に、昨年度の集まりにおいて出された子育て支援の課題を解決するための具体策を考えることを行う予定です。

隔月「かるがもミーティング」の開催

ネットワークとしての活動を具体的に企画するためのミーティングを隔月で開催していく。これまでの調査から得られた情報や、かるがも・ねっとの参加機関・団体等の協力のもと、つくば市にはどのような支援があるのかを子育ての当事者に知らせるためのイベント等を企画していく予定です。

子育てサポーター養成の企画（支援）

子育て支援に関わる人を増やすために、また、支援者たちの力量を高めるために、「子育てサポーター」の養成を企画していくことが提案されました。その際、現在、つくば市社会福祉協議会が実施しているサポーター養成講座に何らかの協力ができないかが話し合われました。今後、どのような協力ができるのかの検討が行われる予定です。

データ・ベースの作成

資源調査で行った情報を蓄積するために、データ・ベースを作成していくことが提案されました。地域子育て支援センターや保健センター、公民館・児童館などで、相談場所や子育てサークル、子育て支援グループを紹介していくことができるようにしていきます。

## 「子育てサークル」について

### 第6回「かるがも・ねっと」学習会より

5月16日の学習会では、つくば市内で活動している「どんぐりこ」「あしのこの会」「まめころ」「ぽっかぽか」の4つのサークルと自主保育の団体である「コロボックル」のメンバーをお迎えして、「子育てサークル」についてのお話をお伺いしました。近くで活動をしているサークル同士でも知らないことが多く、今回の学習会がお互いの活動内容や問題点を知る良い機会となりました。そこで今回のニュース・レターでは、各サークルがどのような活動をしているのか、またどのような問題点や課題を抱えているかについてご紹介します。その上で、学習会で出されたサークルの活動を促すような提案についても紹介していきます。

#### 1. 「どんぐりこ」の取り組み みんなで楽しむ遊びの時間

(お話してくださった方：西脇香里さん)

【活動日・時間】火・金曜日 10時半～午後(他に遠足や梅見など季節に応じたイベントあり)

【活動場所】つくば市内の公園(雨天：松代児童館)

【対象】0～4歳までのお子さんを持つ親子

【会費】1ヶ月 100円

【メンバーの数】10組ほど

【メンバーの募集】2月に市報で呼びかけ

「どんぐりこ」は、つくば市内の公園で外遊びを楽しむサークルです。活動場所は、子ども達が集まりやすいように、遊具が少ない公園を選ぶようにしています。子ども達が集まることで、4・5歳児の遊びを2・3歳児がまねをするなど、遊びを発展させることができます。

サークルの運営については、代表者を作らないで、月当番制をとっています。当番の仕事は、欠席・遅刻の連絡を受けることや毎月の予定表を作ることなどがあります。また、初めて見学に来た方には、後からメンバー同士のトラブルが起こるのを防ぐために、「お昼はみんなそろって食べようね」など、希望を込めたルールを読んでいただくようにしています。

問題点としては、火曜と金曜は児童館の行事が多いこともあり、週に1度しか参加しなかったり、活動を途中で抜けてしまったりする人が出てきていることです。これからは、友達感覚で横のつながりをもっともっと深めていけたらと考えています。

#### 2. 「あしのこの会」の取り組み 身近にある気楽な集いの場

(お話してくださった方：伊藤睦美さん 芦田亜里香さん 猪俣泰子さん)

【活動日・時間】木曜日 10時半～11時半

【活動場所】松代近辺の公園や広場

【対象】0～4歳までのお子さんを持つ親子

【会費】1ヶ月 100円(おやつ代)

【メンバーの数】31名

【メンバーの募集】4月・9月にポスターを掲示。口コミ。

「あしのこの会」は、松代近辺の公園や広場で自由遊びをしているサークルです。他に月に1回、シャボン玉遊びやミニ運動会など、みんなでやる遊びも企画しています。

活動は、20年ほど続いています。長く続いている理由としては、活動場所である松代・手代木という地域と関係があると思います。松代・手代木地区は、子育てをしている世代が多く住んでおり、また、転出転入が頻繁であるため、人とのつながりやつくばの情報を求めている人が多くいます。さらに、そこに住んでいる人たちが子育てへの関心が高く、責任感が強いことも、サークルが長く続いた理由のひとつだと思います。

サークルの運営については、月当番制をとっています。月当番の仕事は、活動費の管理と記録、みんなでやる遊びの企画などです。子育て中は忙しく、なかなか自分の時間が持てないので、月当番は活動時間中に相談などを行っています。こうした気楽さがいいのかなと思います。

### 3. 「まめころ」の取り組み

#### 居心地の良いサークルを

(お話して下さった方：岩城志乃さん)

【活動日・時間】火・木・金曜日 10時半～14時(他に、遠足など季節に応じたイベントあり)  
【活動場所】火：松代児童公園 木：いろいろな公園 金：桜運動公園(雨天：手代木南児童館)  
【対象】0～4歳までのお子さんを持つ親子 【会費】なし(他にコピー代として10円)  
【メンバーの数】10名ほど 【メンバーの募集】ホームページやチラシで宣伝

「まめころ」は、親子で外遊びを楽しむサークルです。サークルを立ち上げたのは、4年前に、「コロボックル」のお母さんたちが小さい子ども達のためにつくった「ぶれころ」というサークルに入ったことがきっかけです。当時の「ぶれころ」は、ベテランのママさんたちが新しくサークルに入った人の名前を覚えていて、必ず話しかけてくださるなど、とても居心地の良いサークルでした。また、親だけではできない遊びも経験させてもらいました。その後、「ぶれころ」のメンバーが減少したため、これらの経験をもとに、「居心地の良さをみんなに伝えたい、遊びをみんなに伝えたい」という思いから、名前を「まめころ」に変えて活動を始めました。

現在、代表は二名で、子育て広場への参加や連絡網・月のスケジュールの作成などを担当しています。他に木曜日の場所決めやイベントの企画などを担当する月当番も設けています。

問題点としては、メンバーの数が以前の3分の1ほどに減っていることです。また、保険に入っていないため、事故が心配です。他にも、雨の日に児童館でお昼が食べられないため、ゆっくり遊べないという悩みがあります。

### 4. 「ぼっかぼか」の取り組み

#### 先輩お母さんの公園での居場所づくり

(お話して下さった方：富岡紀子さん)

【活動日・時間】木曜日 10時～14時  
【活動場所】桜運動公園(雨天：つくば市地域子育て支援センター)  
【対象】0歳～就学前のお子さんをもつ親子 【会費】なし  
【参加者の数】平均親子7組 【メンバーの募集】チラシを配布

「ぼっかぼか」は、公園の中に、「そこに行けば誰かがいる」という居場所を作ることができたら・・・という思いで活動をしています。そのため、規則や連絡網、決まったプログラムというものは特にありません。参加する方の入れ替わりもとても激しく、一年くらい経つてようやく顔なじみができてくるといった感じです。

参加してくるお母さんの中には、子育てに関する情報を知らない方が多くいるため、知っている情報をお伝えするようにしています。そこで、少し先輩の母親として、外で季節を感じながら、「子育ての楽しさ」や手抜き知恵を伝えられたらと思っています。子育ての悩みの相談を受けた時には、こちらでお答えできないものについては、プロが対応したほうが良いと思い、すぐ近くにある支援センターを紹介するようにしています。身近に支援センターがあることを心強く感じています。ただ、活動の中で一番気になるのは子どものケガや安全のことです。

### 5. 子育てサークルの活動をめぐって、話し合いの中から出た提案

それぞれのサークルの活動を通じての問題点や課題を受けて、今後の子育てサークルの活動を活発化させるために、次のような要望が出ました。

- 児童館で昼食を食べられるようにすること
- サークルに対する補助金を出すこと
- サークルに対して公共のバス等を貸し出すこと
- 市報の掲示板に変わるような、広報のシステムを作ること

このようなことを、今後、かるがも・ねっととして、提案していけたらと考えています。

< 下記の内容はコラムにしてください。お願いします。 >

こんな団体も活動しています。

・「コロボックル」の取り組み 街の中で子育てを

(お話して下さった方:五十嵐泉さん)

「コロボックル」は、つくば市内のさまざまな場所を使って、自主保育を行っている団体です。保育者が呼びかけをして始めた団体ですが、基本的にお母さん同士の関係を土台にした自主運営の形をとっています。日々のカリキュラムは特にありませんが、個々の子どもについての願いを持ち、街の中のいろんな人たちとのふれあいの中で子育てをしています。また、普段の活動以外に、バザーのようなイベントも行っています。

現在、問題として感じているのは、認可幼稚園・保育所には補助が出るのに、認可外保育施設やサークルには全く補助が出ないということです。また今後の希望としては、雨の日などに童館でお弁当を食べられるようにすることや、市が持っているマイクロバスを貸し出すことなどの支援ができればいいなと思っています。

## お知らせ

### 「子育て支援を考える 2005」

官民とわず、子育て支援に関わっている機関・団体・グループ等に呼びかけ、「子育て支援を考える 2005」と題したワークショップ(フォーラム)を開催します。内容は、かるがも・ねっとの目指すことと1年間の歩みの紹介とテーマ別による話し合いを行います。グループ別の話し合いのテーマは、「子育て支援の輪を作ろう」「青少年への支援とは」「子育てサポーターを養成するには」「子育て仲間づくりを応援しよう」「効果的に活動を広報、PRするには?!」の5つです。詳細は「子育て支援を考える 2005」のご案内をご覧ください。

日時:平成17年7月16日(土) 10:00~12:30

場所:つくば市桜総合体育館内 会議室(桜庁舎奥)

主催 つくば子育て広場

共催 つくば市保健福祉部子ども課

事前に参加申込が必要になります。

### 募集!!

子育て支援に関するイベントや情報などを募集しています。

ニュース・レターは隔月10日頃に発行する予定です。それにあわせて、イベントの情報(タイトル、内容、開催日時、場所、問い合わせ先)をお知らせください。

\* 毎月30日までに下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

発行:つくば市子育て支援ネットワーク **かるがも・ねっと**(設立準備委員会)

「かるがも・ねっと」は、つくば市にある子育て支援に関わる機関・団体・サークル、ボランティアのネットワークでつくりられています。

発行日:2005年6月15日 編集:丹治恭子・渡辺恵 デザイン・レイアウト:末富真弓  
問い合わせ先:edu\_socio@yahoo.co.jp / FAX:029-853-4829(筑波大学教育社会学研究室)